

日本海事新聞

編集 ☎(03) 3436-3221 FAX(03) 3436-6553 支 局
 広告 ☎(03) 3436-3222 FAX(03) 3436-3247 関西支局 〒550-0011 大阪市西区阿波座 1-2-10 ☎(06) 6535-8781 FAX(06) 6535-8782
 購読 ☎(03) 3436-3223 FAX(03) 3436-3247 中部支局 〒450-0002 名古屋市中村区名駅 5-31-10 ☎(052) 766-5976 FAX(052) 308-3361



①姫路港の施設を見学する子供たち



②ホイールローダー操縦体験

港の姿と 仕事を知って

姫路港

播磨港湾福利厚生協会と神戸運輸監視部姫路海事事務所、姫路港運協会は3月29日、兵庫県姫路市内の親子を対象に、姫路港で港を体験するイベントを開いた。当日は子供23人(14家族)と姫路海洋少年団の団員5人らが参加し、港湾荷役機械やタグボートをはじめ、港の生の姿に触れて体感した。姫路港地域の関係者が協力し、港の魅力や大切さを体感できる施設作業現場で活躍する荷役機械・タグボートなどの見学、体験を通じて、同港の発展ぶりや果たしている役割を伝え、将来の担い手を育てる狙い。

当日は姫路港湾労働者福祉センターに集合し、貸し切りバスで港周辺の施設や作業現場に向かった。現地では大型冷凍倉庫の庫内を見学したり、人の背丈ほどのタイヤを履く大型ホイールローダーの操作を体験したりするなどした。

また、貨物船を安全に離着岸させるタグボートにも乗船し、姫路みなとミュージアムでは同港の歴史や魅力を学んだ。さらに、姫路海洋少年団の活動報告と手旗信号

親子向け体験イベント開催

の実演もあった。見学終了後は港湾労働者福祉センターで食事。普段、港で働く人たちが食べている「港湾メシ」の味を子供たちにも楽しんでもらおうと、人気メニューのカレーライスを振る舞った。

参加した子供たちからは「タグボートが360度回転するのが迫力あった」「冷凍庫は寒かったけど、温ったタオルを振り回して凍ったのが楽しかった」「ホイールローダーの操縦が楽しかった」などの声が上がり、港にはさまざまな仕事があることを学んだ一日となった。

体験イベントには姫路港振興協会、姫路海の日協議会、神戸海事広報協会、姫路港管理事務所、姫路市産業振興課、飾磨海運、上組早駒運輸がそれぞれ協賛・協力した。